



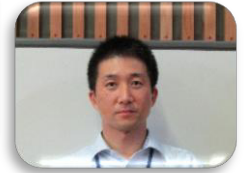
「研修便り」は、高知市立学校教職員研修の成果・内容の共有、教育研究所から発信する情報の周知を目的として、発行していきます。

## 外国語活動・外国語研修会

令和2年6月5日（金）実施

「学習指導要領の趣旨を踏まえた小学校外国語教育における  
指導と評価の在り方」

講師：高知市教育委員会 学校教育課 佃 典高 指導主事



### ☆新型コロナウイルス感染症対策について☆

- 臨時休業があり、教科書の全ユニットを終えることが難しくそうですが...
- 授業で、どのように配慮したらいいでしょうか

6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1-5	29-31		1-4	5-9	10-14	15-19	20-24	25-29	30-31
6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31	1-5	6-10	11-15	16-20
21-25	26-30	31	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31
1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31	1-5	6-10	11-15
16-20	21-25	26-30	31	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30
1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31	1-5	6-10	11-15
16-20	21-25	26-30	31	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30
1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30	31	1-5	6-10	11-15
16-20	21-25	26-30	31	1-5	6-10	11-15	16-20	21-25	26-30

左図のように計画は立てられるが学校行事等もあり計画どおりには進まないだろう。教科書を進めることを目的とするのではなく、子どもたちにとって適度な段階を踏まえ、授業計画を立て、子どもの学びや資質・能力の育成に無理のないよう進めていくことが大事。

#### 【配慮の具体例】

- ・ 身体的な接触（ハイタッチ、握手など）の回避
  - ・ （可能ならば）広い空間での指導（特に伝え合う活動）
  - ・ （教室の前に集まって見るのではなく）実物投影機や電子黒板の活用
  - ・ 「聞くこと」の活動（音声教材、ALTの話）の充実
  - ・ 「教師・ALT」と「児童」とのやり取りの充実
  - ・ 「話すこと[発表]」の活動の充実
- 感染拡大防止に努めながら、言語活動を充実させた授業づくりを進めましょう

### ☆言語活動充実のポイント☆

「外国語活動」及び「外国語」における言語活動とは、「実際に英語を用いて互いの考えや気持ちを伝え合う」活動を意味する。

#### ① 推測しながら聞かせる

- ・ まとまりのある話を聞く際は、一語一文にとらわれず、言語外情報（絵やジェスチャーなど）を参考に概要を捉えることが大切
- ・ 聞く活動でも、先に教師と児童で内容に関連した言葉の「やり取り」をしておく、出てくる言葉を確認してから聞かせることができる

#### ② 目的・場面・状況を設定する

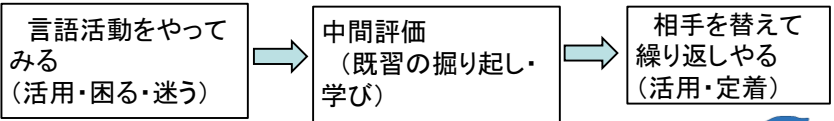
- ・ 言語活動の目的を明確にする
  - ・ 英語を使う必然性がある場面や状況を設定する
  - ・ 児童が思考する言語活動を設定する
- 児童の英語を使って伝えたい意欲が高まる

#### ③ 自分で言葉を選ばせる

- ・ 自分の本当の考えや気持ちを伝え合う活動をすることによって、児童が自分で言葉を選ぶことになる
- ・ 児童が思考して、言葉を判断して選び、実際に使った言葉は、次第に児童に残っていく

#### ④ 中間評価から学ぶ

- ・ やってみて、言いたくても言えなかった言葉を共有する
- ・ 既習の中から言い換えができないか、みんなで考える



言語活動をすることで終わりではなく、「言語活動を通して」資質・能力を育成するということが大切



### ☆小学校外国語科の学習評価について☆

授業での見取りを大切にしましょう

英語で何て言ったのかな？

どういいう英語で答えればいいかな？

何て言えば相手に伝わるかな？

前にも習ったどの言葉で言えば伝わるかな？

こんなことを言いたいな。

例  
話すこと  
知  
思  
主

「知識・技能」の観点では、英語が正しく使えているか、「思考・判断・表現」の観点では、目的・場面・状況に応じて適切に英語が使えているかを見取る。

- 言語材料の提示がない状況で、正しく話している。
- 目的・場面・状況に応じて自分の考えや気持ちを適切に相手に話している。
- 外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に英語を用いて話そうとしている。

このように児童が思考することが重要

# 令和2年度 高知市教育研究所 研究員制度

研究員制度は、教育研究所設立以来引き継がれている伝統ある事業の一つで、本年度67年目を迎えております。

「研究員制度」とは、教職員が研究員として学校等で実践しながら教育課程や学習指導法、学校・学級経営などについて研究を深め、その研究の成果を高知市全体に普及し、学校教育の振興・充実に資することを目的に、高知市教育研究所が行っている研究制度です。



## 今年度の研究員・研究テーマ [敬称略]



教育相談	小4から中2までの不登校を未然に防ぐための小中連携 -30年後の西部校区を救うために-	池田 美紀	嶋 田 小
		北川 真美	神 田 小
		川村 真弘	西 部 中
	校内型適応指導教室における学力保障を柱としたカリキュラムの在り方	横田 千穂	城 北 中
授業	バックワードデザインを用いて文章表現力を育てる英語科の授業づくり	水野 淳介	城 東 中
指導生徒	「学校活性化・安定化実践研究事業」による生徒の意識の変容と教員の意識の変容の関係性について	植田 竜平	城 西 中
教育情報	フローチャートを活用したプログラミングの思考の育成を目指した授業実践と検証	濱田 悠	一 宮 小
教員育権	密接・密集に配慮した仲間づくりを通して、自信をもって自己表現ができる学級集団を目指す	林 友希	長 浜 小
特別支援教育	読みに困難さを示す子どもへのMIM-PMを活用した3rdステージ指導で読みの流暢性を向上させる -子どもの実態に合わせた教材の改良と効果の検証-	名倉 忍	はりまや橋小
	子どもが主体的に活動する各教科等を合わせた指導の充実 -特別支援学校中学部における作業学習の実践を通して-	式地 真	高知 特 支
学校事務	学校徴収金の徴収・管理における事務職員の役割	小島 彩	潮 江 南 小
		曾我本真由美	愛 宕 中

[令和2年6月22日現在]



## 1年間の研究の流れ



研究計画	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
		入所式 (5月21日)	全体定例会 (6月12日)	定例会 (領域別)	中間報告会 ※今年度中止	全体・各領域における実践発表(公開授業) 定例会(領域別)					研究紀要 原稿作成	終了式 (2月19日)

### 入所式の様子 5月21日(木)

入所式ではまず、今年度研究員になった12名に辞令書が渡されました。

そして、研究員を代表して長浜小学校の林 友希 教諭が「研究内容は『人権尊重を基盤とした仲間づくり』で、本年度2年目の取組。昨年度の成果や課題をもとに、互いに認め合い安心して自己表現ができる学級集団を目指して研究を進めていきたい」と、挨拶を述べられました。

入所式に続いて行われた学習会では、高知大学の刈谷 三郎 名誉教授に、研究が充実したものになるよう、教育実践論文作成のための心得をご指導いただきました。

研究員12名の1年間の研究がスタートしました。



### 全体定例会の様子 6月12日(金)



全体定例会では、刈谷名誉教授の講義を受けました。その中で研究を進めていくためのポイントが示されました。

- ① 研究対象をよく観察して、実態把握をする。
- ② 研究テーマはシンプルに。研究のキーワードを設定し、それらの関係を構造化して、テーマを絞る。
- ③ 先行研究を調査し、分かっていることと分かっていることを、明らかにする。
- ④ ゴールでの子どもの具体的な姿を想定する。

その後、各領域に分かれ、研究テーマ等について刈谷名誉教授から助言を受けながら、分科会を行いました。



ご意見・ご感想を高知市教育研究所 教職員研修班までお寄せください。